



用意周到♪

今回の旅行で一番の気がかりが飛行機への搭乗でした。そこで「りえこ新聞」40号で紹介したOさんに相談すると搭乗マニュアルや実際に搭乗した際の動画などの資料を送っていただけました。

それらの資料を参考に、自宅を機内に見立てて同行ヘルパーさんと一緒に移乗練習を行ったうえで当日に臨んだのですが、充分なイメトレをしていたので戸惑うことなく、スムーズに搭乗できました。ちなみに出発のときは優先搭乗で一番に乗せてもらえるので、気分はファーストクラスです。(*^_^*)

沖縄までの道のり

- ①どここのツアーにするか絞り込む！(飛行機+宿泊)
☆ANAの対応が良いとの情報からANAのツアー『旅作』に決定
- ②現地ホテルに介護ベッドを搬入してくれる業者をさがす
☆チェックイン前の設置とチェックアウト後の解体を依頼
- ③ツアーに設定されているホテルの中から介護ベッドの搬入が可能なホテルをさがす
☆事前に搬入業者が決まっていればほぼ対応可能でした(^_^)
- ④同行のヘルパーさんを確定してツアーを予約
☆予約後の搭乗者変更は不可なので注意！
- ⑤航空会社に呼吸器、バッテリー、吸引器、車イスの型番を申請
機内での移乗や介護のしやすさを考慮して座席指定
☆主治医の診断書を提出)
- ⑥気圧変化での呼吸器トラブルに備えて予備機の手配
☆さらに万一に備え現地担当者への連絡先を確保
- ⑦さらにさらに現地病院への紹介状の用意
- ⑧観光用に福祉車両のレンタカー手配

上記手順を『そこまでして・・・』と感ずるか『それだけで・・・』と感ずるかはその人の気持ち次第。私は完全に後者でした！
準備に万全を期すことで得た大きな『安心感』が、今回の旅の成功の秘訣だったと思います。(^^)／

人体の不思議



暑いですが！
ちなみに「なにかお手伝いすることがあれば」というスタンプさんに「今後のために搭乗の様子をビデオ撮影して下さい」と頼んだところ、戸惑いながらももしっかり撮影していただけました。おそろしくめったにないお願いだったと思います。(^^)

飛行機搭乗で最大の難関は、離着陸時にリクライニングを元の位置へ戻さなければならぬことでした。今の生活で身体を直角に起こすことはまずなく、数分間でも体制としてはきついだらうと覚悟していました。

エコノミーなので座席もさほど倒れず、リクライニング

お盆休み

沖縄から帰って来た3日後、大阪から母と姉が遊びに来てくれました。倅大は最寄り駅まで1人で迎えに行き、母の荷物を持って颯爽と帰ってきました。母と姉が上京するたびに倅大の成長を垣間見ることができます。

夜は母と一緒にホテルに泊まり、翌日はゲームセンターで思う存分遊んでから帰宅。お昼からは都電に乗ってお年寄りの銀座とも、おばあちゃんの前宿とも言われる「巢鴨とげぬき地蔵」へ行ってきました。この商店街にある小魚専門店のじゃこはとともオススメです。

翌日は倅大のバスケの大会だったのでみんなで応援に行きました。会場の豊島区立体育館はとて立派な施設で、ありがたいことにエアコンの効いた2階席からゆったりと観戦することができました。

まだ2年生の倅大が、上級生と一緒に試合で活躍することは難しいですが、足を止めることなく必死に走った結果、一度だけゴールを決めることができました！母と姉の前でイイところを見せることができた倅大、なかなかの勝負強さでした。



「見ている嬉しくなりました！」
「言うてくださり、私自身も本当に嬉しくなりました。」

でもほぼ直角に感じていたのですが、離陸体制に入ると本格的に90度。ヘルパーさんお手製のヘッドバンドで頭を固定して離陸の数分間をしのいだのですが、思いのほか身体は大丈夫で気持ちにも余裕がありました。さらに直角タイムを体感したあとに座席を倒すと、不思議なものでも「こんなに倒してもいいの？」と感じました。(笑)

過酷な環境を乗り越えること、さっきまでの苦痛が大したことではないように感じられるという経験は、私にとって大きな収穫でした。おかげでとても快適な空の旅ができました。

国内では東京(羽田)から一番遠いのが沖縄なので、今後どこへでも行ける気がします。

「いきなり沖縄！」とお思いの方も多いでしょうが、極端な性格なもので、

格好良すぎる(´▽`)

帰りの飛行機で、車イスが出てくるまでの待ち時間にCAさんとお話をしました。

そのOさんは都内の大学病院で7年間看護師として働いた後、1年前に急に転職されたそうです。どちらか自分なりたかた職業だったから、とのことでしたが、実現には相当の頑張りがあったはず。そう思うとやはり『人生は自分次第！』と改めて気付けさせてもらいました。

大学病院にはALS患者さんもあり、その方もALSを知っていました。そんな方が、私が搭乗する姿を見て

今月のお知らせ

- まだまだ書き足りない「沖縄珍道中」
来月号でも掲載予定です。(^^)／
- 母が帰ったさらに2日後、倅大は群馬のいとこの家にお泊まり。花火に川遊びにと夏休みを満喫していました。

～旦那後記～

今回の沖縄旅行は全面的に妻がプロデュースしてくれました。ツアーの選定に始まり、ホテルへの介護ベッド対応確認・介護ベッド搬入業者探し・福祉車両レンタカーなど、ヘルパーさん協力のもと全て手配してくれました。今回の旅行の一番大きな収穫は「ホテルに介護ベッドを搬入すれば普通に旅行ができる」という実感だと思います。自分には「ホテルの部屋に介護ベッドを搬入する」という発想がなかったので、今回の妻の発想と行動力には本当に驚かされました。次回の家族旅行を目標に、俄然働く意欲が湧いてきました。がんばって稼ごう！(^^)